

公民館だより Toyosato

縁日風のち祭りで賑わう



8月15日(日) 公民館前駐車場において『とよさと夏祭2017』を開催。800人の人出で賑わいました。

この催しは、当協議会手づくりの地域密着型お祭りで、大好評だった前年に引き続き、第2回目のイベントとして実施したものでした。

祭りは豊里風太鼓の勇壮な音色でスタート。続いて躍動感溢れるよさこい「華幻」、優雅なフラダンス「イリマ」の舞踊で花を添えました。



また出店は、かき氷、ポップコーン、綿あめの無料コーナーが大人気。さらに今回は石巻市内や牡鹿半島、南三陸から海産物ブースも出店、長い行列ができました。

会場の北側の一隅には、ランニングバイクの体験

コーナーを設置し、延べ30人以上の未就学児がバイクに挑戦しました。最初のうちは転倒しそうになつた子どもも、10分後にはスイスイと上手にバイクを操れるようになり、もっとやりたいと大人気のコーナーでした。

祭りの終盤には、盆踊りでたくさんの輪ができる、飛び入り続出状態でした。

フィナーレはお菓子まきを実施。盛り沢山の楽しい祭りを終えました。



ステージと200人以上の観客が一体、アンコールの連続で大いに盛り上がったレゲエライブ



海里交流をテーマに多くの出店ブースも大人気、いずれも長い行列が続く

豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報
9月号
平成29年9月1日発行



挨拶する佐々木会長 今年もねぶた登場

今回の祭りの目玉はレゲエライブで、大阪からTAK-EZをはじめ、4人のアーティストが登場。200人以上のファンで会場全体が熱気に包まれ、この日一日中霧雨が降つたり止んだりのモヤモヤ天気を吹き飛ばす盛り上がりとなりました。

祭りの終盤には、盆踊りでたくさんの輪ができる、飛び入り続出状態でした。

フィナーレはお菓子まきを実施。盛り沢山の楽しい祭りを終えました。



ときめきキッズ花山サマー キャンプ 大自然の夏思い出に残る体験



ときめきキッズクラブ『花山サマー キャンプ』が7月27日~28日の2日間、国立花山青少年自然の家で行われました。

この催しは、大自然の恵まれた環境での体験学習をとおして、豊かな心を育て、協調性を学び、リーダーの養成と仲間づくりが目的の事業です。

今年は32名の小学生と21名のジュニアリーダーが元気いっぱい参加しました。

午前9時前に国立花山青少年自然の家に到着。

早速入所式を行い、最初の体験学習「こけしの絵付け」に取り組みました。

こけし工人の岡崎さんから、地方によるこけしの違いや由来の説明があり、数



こけし工人から絵付けの説明を聞く

種類の色を選び顔や模様などを思い思いに描きました。できあがったこけしは、自分だけのオリジナルなので、子どもたちの満足感を感じられました。

昼食後、ライフジャケットを着て、沢遊びに出発。例年より水が冷たかったものの、みんなの目当ての沢遊びなので、ダイビングや水すべりなど元気いっぱい。楽しさがはじけました。



楽しい沢遊びにみんなの歓声響く

1日目の最後は、みんなの楽しみの1つ、キャンプファイヤーを実施しました。

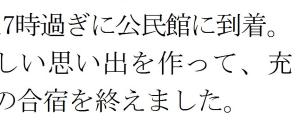
火の神と火の子の誓いの言葉から厳かにスタート。周りが暗くなり、火が燃え上がった時は歓声があがりました。

火あかりの中、ジュニアリーダーの指導で、歌やダンス、ゲームを楽しみ、最後まで疲れも見せずに大いに盛り上りました。



誓いの言葉で始まったキャンプファイヤー

2日目、朝のつどいの後、野外炊飯「ピザづくり」に挑戦。生地の水加減が難しかったものの、それぞれに完成。みんなでおいしくいただきました。



17時過ぎに公民館に到着。

楽しい思い出を作って、充実の合宿を終えました。



おいしくできたピザに舌づみに塩の結晶が浮かんできて、次第に見慣れた塩になっていく過程に大興奮。かき混ぜ方によって粗さの違う塩ができたことも勉強になった様子でした。

塩づくり体験の後は、磯遊びを楽しみました。中には海で遊んだことのない子もいて、とても楽しそうでした。



作業が進み、海水の表面

公民館だよりでは、二つの夏祭りを特集しました。このイベントにご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

9月には豊里地区市民大運動会が開催されます。積極的なご参加、ご協力お願ひいたします。(佐々木)

T.Y.C. 豊里・米山キッズ交流

塩づくりと磯遊びを楽しむ



8月3日、T.Y.C 第3回楽習会を開催しました。



るのか、出発前から興味津々。



ブの方の指導で、事前に20%まで精製してある海水を蒸発させ、塩にしていく作業に取り組みました。

塩づくり体験館のスタッ

YOSAKOI&ねぶた、とよさと夏祭りの写真展
8月28日から公民館ホールに展示しています
どうぞご自由にご覧下さい

9月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
9月3日(日)	豊里地区市民大運動会	豊里運動公園
9月10日(日)	囲碁・将棋サークル	公民館和室
9月14日(木)	第2回料理教室	多目的研修センター
9月21日(木)	第3回シニアセミナー	公民館中ホール

編 集 後 記

連日暑い日が続いており、健康管理にはとても気をつかう時期ですね。

さて、8月は「YOSAKOI &ねぶた」や「コミュニティ夏祭り」など大きなイベントが続きました。

囲碁 将棋 サークルの集い 世代越えた交流でにぎわう



7月23日、公民館和室において第5回囲碁・将棋サークルの集いを開催しました。

今回は、新たに3名の加入者を含め、16名が参加して対局を楽しみました。

このサークルは、13人の小・中学生と12人の愛好者の合わせて25人で活動しています

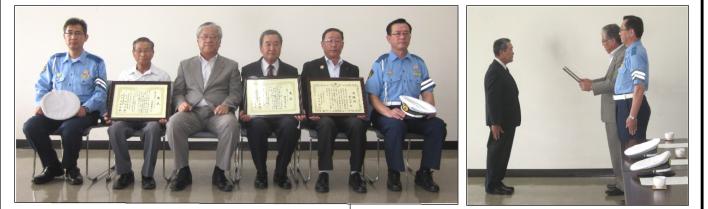
メンバーは小・中学生と

聰太四段の大活躍が話題で、新たに将棋を覚えたいという希望者も多いようです。公民館では、このサークルで将棋入門講座の開設を検討しています。

囲碁や将棋に興味のある方はご一報下さい。

死亡事故ゼロ 2,500日を達成

～交通死亡事故抑止功労褒状を受賞～



50代以上という年齢層はバラバラですが、共通の趣味をもつ集まりなので、いつも楽しい会話があり、和やかな雰囲気の中で交流が行われています。

今回は、夏休み期間中とあって、これまで最も多い参加者が集い、会話に対局に大いににぎわいました。

最近の将棋界では、藤井

交通死亡事故抑止功労表彰式が7月31日、登米市役所において行われ、当コミュニティ推進協議会が受賞。佐々木信義会長が出席し、褒状を受領しました。

豊里地区は、平成22年9月月15日以降交通死亡事故がなく、7月20日で2,500日を達成し、今回登米市交通

安全対策協議会長(市長)及び登米警察署長からの褒状の受賞となつたものです。

佐々木会長は謝辞の中で、「この栄誉は、地域関係者一丸となって交通安全に取り組んだ賜物であり、今後とも地域総ぐみで記録を伸ばしていきたい。」と力強く決意を述べました。



よさとの人間国宝 よさこい『華幻』のリーダー 鎌田 和敏さん (西二ツ屋出身)



豊里が誇るすばらしい人物や場所を発掘し、顕彰する、その名も大きく『豊里の人間国宝と世界遺産』。

今回、人間国宝には、よさこい『華幻』のリーダーで、「よさねぶ」等で活躍中の涌谷町在住、鎌田和敏さん。

世界遺産には、豊里町笑沢の絶景の山上に立つ天然記念物、名木1千年の『笠松』(庚申)の登場です。

あなたの周りの凄い人や珍しい行事・文化、ここぞと思う場所を推薦して下さい。取材に伺います。

鎌田さんは昭和56年3月生。西二ツ屋出身で、結婚後は涌谷町在住。よさこい『華幻』リーダーで、「YOSAKOI &ねぶたinとよさと」のYOSAKOI部長としても活躍中です。

明るい性格で行動的。高校では生徒会長、

短大卒業後は豊里町青年会長など、それ

ぞれの分野でリーダーとして信頼性抜群です。

平成15年、青年会活動がきっかけでよさこいを始めたとのことで、その後『豊里風太鼓』の指導者としても活躍。地元イベントはもちろん、県内外で精力的に活動するほか、地元の老人福祉施設への慰問も行っています。

現在は豊里町社会福祉協議会に勤務。



地上1.5mのところで直径1.3mになる大木で、宮城県の名木集にも記載されています。



よさとの人間国宝 佐々木 信平さん 認定書をお届けしました

世界遺産 水山みずか



保手の生家で作業中の佐々木信平さんに、認定証と記念シールを贈呈しました。また、水山の遺産認定証は公民館ホールギャラリーの「豊里の歴史コーナー」に掲示しました。



公民館ホールギャラリーの「豊里の歴史」コーナー

演舞躍動



YOSAKOI & ねぶた in とよさと 2017

2017 YOSAKOI & ねぶたin とよさと が8月6日(日)、豊里駅前通りで20,000人を集め、盛大に開かれました。よさこいは、北海道や岩手など各地から招待3チームを含む41チーム、約1,000名の演舞者が集結。また、ねぶたは各地区的町内会・子ども会など合わせて13基の山車が参加。昼夜に熱氣あふれる祭りとなりました。

描画 優美



ねぶた絵入賞団体

- ◎ 武者絵の部
最優秀賞 浦軒
優秀賞 加々巻、下町
- ◎ アニメの部
大賞 東西二ツ屋
特別賞 大曲、横町